



雷別ドングリ倶楽部で植樹

令和8年6月24日(水)、雷別国有林(標茶町雷別)で、今年度1回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、広葉樹の森林づくりを行いました。

これは高齢級のトドマツ人工林が立枯れし、笹地となった雷別国有林293林班で、平成19年7月から「雷別ドングリ倶楽部」の会員の方々と協働で、森林再生に取り組んでいるものです。

当日は会員11名が参加し、ミズナラ・ハルニレ・キハダを60本植栽するとともに、野生生物から植栽木を保護するため、保護管(ツリーシエルター)で被覆しました。



△植樹の様子

今回の植栽箇所は、笹の地下茎が深く張り巡らされており、植穴を掘るのに苦労されていました。

午後からは、保護管の組立てと植栽した広葉樹に保護管の被覆を行いました。皆さんが協力してくれましたので予定通りに無事、活動を終えることができました。

参加者の方からは、「暑かった。」や「今回は最後まで作業することができてよかった」等の声が寄せられました。

今回の活動は、幸い天気にも恵まれ、参加者同士で声を掛け合ったり、適宜休憩を取るなどと安全に、森林再生に取り組むことができました。



▷保護管を被覆している様子

和琴半島で自然観察!

令和8年7月15日(水)、和琴半島(弟子屈町)で、今年度2回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、会員11名の参加により自然観察を行いました。

和琴半島は、北海道の屈斜路湖に突き出した半島で、昔の火山活動によってできた自然豊かな場所です。小さな半島ですが、その中に1周約2.5kmの自然探勝路が整備されています。1時間程度で周回できる手軽さに加え、お花の種類が多いことや一部で火山活動の名残が感じられることから人気の散策路となっています。



△散策の様子



△自然観察の様子

散策路を歩いていると「ミンミンミンミンミンミン」というセミの鳴き声が聞こえてきました。実はこの声、道東地方では、和琴半島周辺でしか聞くことができない国の天然記念物「和琴ミンミンゼミ」で、ほんの数回でしたが、鳴き声を聞くことができました。

ドングリ倶楽部の皆さんは、自然に興味を持たれている人が多く灌木や草花に関しては、我々よりも知識が豊富で、かえって色々と勉強させていただきました。



△木材の利用について説明している様子

鶴居村わんぱくアドベンチャークラブ7月講座「木と遊ぼう」

令和8年7月18日(土) 鶴居村ふるさと情報館において、わんぱくアドベンチャークラブ7月講座「木と遊ぼう」の依頼があり、活動支援を行いました。

この取組は、令和5年度より鶴居村教育委員会からの依頼を受け活動支援を実施しています。

最初に、木材の利用について説明しました。今回の参加者は12名の小学生だったので、皆、ちゃんと最後まで静かに話を聞いていて偉いなと思いました。

そのあと、「コースターづくり」をしました。子供たちは、講習が始まる前から事前にカットしてある材料に興味津々で、紙やすりを配り終



△作業している様子

わる前から、「もう作業してもいいですか?」と聞いてくる子供もいました。

作業が始まると子供たち静かに黙々と作業していました。途中で疲れて先生や私たちに代わりやってほしいとお願いされ交代で作業することもありました。

表面の研磨を満足するまで終わったら、最後にペンで色塗りをしました。最後まで色塗りをせずに紙やすりで表面がツルツルになるまで削っている子供もいました。

今回の活動を通じて参加した子供たちが木について少しでも身近に感じてもらい、興味・関心をもってもらえればと思います。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。